2012 年度センター試験　簿記・会計

第 2 問

取引の帳簿への記帳と伝票に関する問題。

伝票は５伝票制で商品売買取引はいったん掛けとして処理し、伝票１枚につき、貸方・借方の科目が１科目ずつになるように起票する。また補助簿として商品有高帳（移動平均法)、売掛金元帳、買掛金元帳を設けている。毎月末には仕訳集計表を作成している。

まず、資料 4 の商品有高帳を移動平均法に基づいて空欄を埋める。

2 日の残高：金額 ＝ 120 + 150 = ￥ 270, 単価＝270 / 30 = 9.0
8 日の払出：金額 ＝ 10 × 9.0 = ￥ 90, 単価＝9.0
8 日の残高：金額 ＝ 270 - 90 = ￥ 180, 単価＝9.0
13 日の受入：金額 ＝ ￥ 120 (資料 1 の取引より), 単価＝120 / 10 = 12.0
13 日の残高：金額 ＝ 180 + 120 = ￥ 300, 単価＝300 / 30 = 10.0
15 日の払出：金額 ＝ 5 × 12.0 = ￥ 60, 単価＝12.0
15 日の残高：金額 ＝ 300 - 60 = ￥ 240, 単価＝240 / 25 = 9.6
20 日の払出：金額 ＝ 5 × 9.6 = ￥ 48, 単価＝9.6
20 日の残高：金額 ＝ 240 - 48 = ￥ 192, 単価＝192 / 20 = 9.6

15 日の払出は仕入戻しであるため、仕入金額の単価 ¥12.0 で記入を行う。以上から商品有高帳は以下の通りになる。

平成×5年		摘要	受入			払出			残高		
			数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額
6	1	前月繰越	15	8.0	120				15	8.0	120
	2	高知商店	15	10.0	150				30	(9.0)	(270)
	8	岡山商店				10	(9.0)	(90)	20	(9.0)	(180)
	13	徳島商店	10	(12.0)	(120)				30	(10.0)	(300)
	15	徳島商店戻し				5	(12.0)	(60)	25	(9.6)	(240)
	20	愛媛商店				5	(9.6)	(48)	20	(9.6)	(192)

商品有高手帳から、資料１の取引を伝票に合わせて仕訳を行うと以下の通りになる。

2 日：	仕　入	(150)	買掛金	(150)
	買掛金	70	現　金	70
3 日：	当座預金	50	受取手付金	50
8 日：	売掛金	160	売　上	160
	受取手付金	50	売掛金	50
	発送費	4	現　金	4
10 日：	受取手形	60	受取手形	60
	受取手形	(1)	受取利息	(1)
13 日：	仕　入	120	買掛金	120
	買掛金	30	支払手形	30
15 日：	買掛金	(60)	仕　入	(60)
	買掛金	2	当座預金	2
20 日：	売掛金	80	売　上	80
	受取手形	30	売掛金	30
	発送費	6	当座預金	6
21 日：	売　上	10	売掛金	10
26 日：	当座預金	40	売掛金	40
27 日：	現　金	77	当座預金	77

2 日と１５日の商品の仕入金額は商品有高帳の記述分かる。
10 日の手形の利息は仕訳集計表の「受取利息」の勘定から￥1 であることが分かる。

問１.
　3 日の取引から　ア は **受取手付金**
　13 日の取引から　イ は **支払手形**
　26 日の取引から　ウ は **当座預金** が当てはまる。
また、8 日の仕訳から売上伝票の金額は￥**160** である。

問２
　６月の取引の集計を行うと以下の通りになる。

借方	勘定科目	貸方
（77）	現金	74
（90）	当座預金	85
91	受取手形	60
240	売掛金	130
	支払手形	30
162	買掛金	（270）
50	受取手付金	50
270	仕入	（60）
10	発送費	
10	売上	（240）
	受取利息	1
1,000		1,000

問３　各取引で使われる伝票は以下の通りである。

2 日：	仕　入	(150)	買掛金	(150)	：	仕入伝票
	買掛金	70	現　金	70	：	出金伝票
3 日：	当座預金	50	受取手付金	50	：	振替伝票
8 日：	売掛金	160	売　上	160	：	売上伝票
	受取手付金	50	売掛金	50	：	振替伝票
	発送費	4	現　金	4	：	出金伝票
10 日：	受取手形	60	受取手形	60	：	振替伝票
	受取手形	(1)	受取利息	(1)	：	振替伝票
13 日：	仕　入	120	買掛金	120	：	仕入伝票
	買掛金	30	支払手形	30	：	振替伝票
15 日：	買掛金	(60)	仕　入	(60)	：	仕入伝票
	買掛金	2	当座預金	2	：	振替伝票
20 日：	売掛金	80	売　上	80	：	売上伝票
	受取手形	30	売掛金	30	：	振替伝票
	発送費	6	当座預金	6	：	振替伝票
21 日：	売　上	10	売掛金	10	：	売上伝票
26 日：	当座預金	40	売掛金	40	：	振替伝票
27 日：	現　金	77	当座預金	77	：	入金伝票

(1)　入金伝票は１枚、出金伝票は２枚である。
(2)　振替伝票は全部で９枚あるため、資料２の伝票以外に５枚ある。

問４
(1) ６月の商品売買に関する売上原価は、商品有高帳から 90 + 48 = ¥138.
(2) 商品の払出単価を先入先出法で計算した場合、商品有高帳は以下の通りになる。

平成×5年		摘要	受入			払出			残高		
			数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額
6	1	前月繰越	15	8.0	120				15	8.0	120
	2	高知商店	15	10.0	150				15	8.0	120
									15	10.0	150
	8	岡山商店				10	8.0	80	5	8.0	40
									15	10.0	150
	13	徳島商店	10	12.0	120				5	8.0	40
									15	10.0	150
									10	12.0	120
	15	徳島商店戻し				5	12.0	60	5	8.0	40
									15	10.0	150
									5	12.0	60
	20	愛媛商店				5	8.0	40	15	10.0	150
									5	12.0	60

以上より、６月末の商品棚卸高は 150 + 60 = 210 となる。

第１問　Ｂの解答

ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ
4	7	2	6	0	9	1	1	6	2	2	7	0	1	0
タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ
7	4	8	5	1	3	0	1	2	5	3	8	2	1	0